

公益財団法人MR認定センター

令和3年度事業計画

自 令和3年(2021年)4月1日 至 令和4年(2022年)3月31日

- MR認定要綱に基づいたMRの資質向上策を推進することにより、医薬品の適正使用が図られ、国民の保健衛生の向上に寄与する。
- MRの基礎的知識を公正で客観的に評価するための認定試験事業を推進する。
- 業界全体の教育研修の水準が高まるよう、教育研修支援事業を強化する。
- MR学習ポータルを活用により、MRに対する個人学習の環境を整備する。

※以下表示金額は、税抜き本体価格である

1. MR認定制度の改定

1) 改定したMR認定制度の周知・徹底

(1) 企業の教育研修担当者への周知徹底

MR認定要綱解説書、通知集を整備し、新制度の理解及び具体的推進方法の周知・徹底を図る。

(2) 一般向けへの周知

新制度を周知させるため、センターホームページを整備する。

(3) 行政、関係団体への説明

メディアによる広報等を通じて新制度の周知と理解を図る。

(4) 医学・薬学系学会への広報

学会への出展、薬科大学への訪問等による広報活動を行い、新制度の理解と受験者拡大を図る。

2) 改定したMR認定制度を運用するためのMR教育・試験管理システム(MRO)の構築

企業・実施機関とセンター間で申請・認定を行うシステムとして、MR個人の試験結果及び教育研修の履歴を管理する。

(1) システム構築及び運用テスト

2021年8月稼働に向けて、システム構築及び運用テストを行う。

(2) 手順書・操作マニュアルの整備

企業の教育担当者が適切に運用できるよう、手順書・操作マニュアルを整備する。

(3) 運用

利用料: 1社 20,000円/年

3)MR 学習ポータル構築及び運用

(1)概要

MR の個人学習並びに認定証の更新手続き等を行う MR 学習ポータルを開発し運用する。

(2)頒布

契約:毎年4月1日から翌年3月31日までとし、更新制とする。

(3)コンテンツ

①MR テキスト電子版(収益) 4月1日から翌年3月31日(8月1日改訂)

MR テキスト電子版を掲載し、個人学習の環境を整備する。

使用料:1,050 円

②MR 認定試験過去問ドリル(公1) 4月1日から7月中旬まで利用可

直近の MR 認定試験

③基礎教育年次ドリル(公2) 8月1日から翌年3月31日まで利用可

業者にドリル問題の作成を委託し、継続教育の基礎教育の学習環境を整備する。

使用料:250 円

④更新時確認ドリル(公1) 8月1日から翌年1月31日まで利用可

試験委員会作成のドリル問題で、認定証の更新時の基礎知識の確認・評価をする。

使用料:590 円

(4)運用

①導入日:ver1. 2021年4月1日～ ver.2 2021年8月1日～

②使用料:1人1,890円/年

③管理者使用料:1人25,000円/年

2. MRの資格認定事業(定款第4条第1号関係)

MR認定要綱に基づいてMR認定試験の実施、MR認定証の交付及び更新を行う。
試験委員会を開催し、MR認定試験の問題作成、合否判定等を行う。

1)第28回MR認定試験の実施

(1)試験実施日:2021年12月12日(日)

(2)試験地:東京・大阪の2地区 [東京:現時点で未定 大阪:現時点で未定]

(3)受験者数2,000名

(4)受験料:1科目 8,000円

2科目以上12,000円

(5)出題形式:全問五肢択一問題とする。

◎MR認定試験 CBT化の検討

2022年度実施を目標にMR認定試験を、マークシート解答方式試験からWeb上の回答方式試験への変更を目指し、開発に着手する。

2)MR認定試験問題の作成及び合否判定

(1)第28回MR認定試験の問題作成

試験委員会運営委員会にて試験問題を作成する。

(2)合格点の検討

正副委員長会議にて合格点を検討し、試験委員会にて合否判定案を策定する。

(3)理事会での合否判定

試験委員会で行った合否判定結果を理事会で承認する。

(4)合否結果の通知

1月末に受験者に合否結果を通知する。

3)MR認定証の交付及び更新

(1)新規交付

試験の合格、実務教育を修了並びに6カ月のMR経験を修了した者に対して認定証・バッジを交付する。

・交付料:2,300円(バッジ代含む)

(2)再交付

認定証の紛失、盗難、き損又は記載事項の変更等がある場合に、認定証を再交付する。

・再交付料:2,000円

(3)更新

有効期限が2022年1月末日のMR認定証を更新する。

5年間の所定の認定研修を修了した者に対して、MR学習ポータルに掲載された更新時確認ドリルの修了により認定証を更新する。

①MR認定証の更新

・更新要件:所定の認定研修及び更新時確認ドリル修了者

・更新予定者数:約12,000人

・更新料:5,000円

②MR基礎教育限定認定証での更新

・更新要件:更新要件のうち、更新に必要な最終年度の実務教育を修了認定されていない者

・更新予定者数:約2,000人

・更新料:5,000円

4)MRの資質向上等に関する調査研究事業

(1)医師、薬剤師、MRを対象とした大規模「MR実態調査」の実施

MR100周年記念事業として実施したMR実態調査実施から10年が経過したことから、経時的変化を見るための調査の実施に向けて調査目的及び調査項目を検討する。

(2)MR活動に関する実態調査(MR白書)

MR数等MRの実態や企業における教育研修の現状などについて毎年度調査を実施している。本年は変動調査であるが、認定制度抜本改革の初年度であることから、企業の取り組み等を調査項目に加え大幅に刷新する。「2021年版MR白書」として公表する。

(3)学会発表等

日本医薬品情報学会においてフォーラムを企画・実施する。

5)制度普及のための広報事業

(1)MRフォーラムの開催

①目的:MRが医療関係者から信頼されるパートナーとなることを目指し、医療関係者とMRの相互理解・相互交流を図る。

②開催日:8月26日(木)

③場所:東京コンファレンスセンター品川 同時にWeb配信

④対象者:MR、企業の教育研修担当者

④参加費:無料

(2)大学での講義・講演

・東京薬科大学薬学部 医薬品情報特論(5月14日)

(3)学会等での展示

・日本薬学会への出展を行い、薬学部学生及び教員にMR認定制度を紹介し、MR職への理解向上を図る。

3. MRの教育研修修了認定事業(定款第4条第2号関係)

MR認定要綱に基づいて教育研修システムの認定、MRに対する教育研修修了認定を行う。

1)教育研修システムの認定及び教育研修の修了認定

(1)教育研修システムの認定及び更新

①教育研修システム(企業)の認定

新規に教育研修を開始する企業の教育研修システム(企業)の認定を行う。

・認定料:45,000円

②教育研修システム(実施機関)の認定

個人の受験希望者が導入教育の基礎教育を受講できる MR 導入教育実施機関の教育研修システム(実施機関)の認定を行う。

・認定料:100,000 円

③教育研修システム認定講習会の実施

講習会の出席ならびに推進者の試問の修了をもって、教育研修システムの認定更新を行う。

・開催日・開催地:2022 年 2 月 16 日(水)東京

2022 年 2 月 18 日(金)大阪

・内容:MR 認定要綱及び細則、センター中期計画、2022 年度事業計画等

・参加者:システム認定を受けた企業・実施機関の教育研修担当者(1 名以上)

・参加費:1 名につき 7,000 円

(2)教育研修体制の整備

企業の教育研修体制の強化に伴い、役割者を登録する。

①総括教育研修責任者

②教育研修推進者

③実務者

(3)MR 導入教育実施機関での教育研修体制の強化に伴う役割者の登録

①教育研修管理責任者

2)教育研修の修了認定

(1)導入教育の修了認定

①企業・実施機関による実施計画の届け出

②企業・実施機関による実施報告申請

③センターで内容確認の上、修了認定

④修了認定料:1 申請当たり 300 円に教育研修対象者 MR 数を乗じた金額

(2)継続教育の修了認定

<基礎教育>

①MR 学習ポータルに搭載の基礎教育年次ドリルの修了で自動的に修了認定

②MR 学習ポータルを利用しない企業は、計画の届け出、実施報告により修了認定を受ける必要がある。

<実務教育>

- ①企業による実施計画の届け出
 - ②企業による実施報告申請
 - ③センターで内容確認の上、修了認定
 - ④修了認定料:1申請当たり 300 円に教育研修対象者 MR 数を乗じた金額
- (3)MR 復帰プログラムの修了認定
- ①センターは、企業が MR 基礎教育限定認定証保有者に対して実施する MR 復帰プログラムの内容を確認の上、修了認定する。
 - ②1申請当たり 300 円に教育研修対象者 MR 数を乗じた金額

4. 教育研修担当者への支援等の教育研修環境整備事業(定款第4条第2号関係)

企業が実施する教育研修の質的向上を図るために、センターは企業の教育研修担当者に対して支援を行う。

教育研修委員会を開催し、MRに対する教育研修及びその担当者への支援等教育研修環境の整備について審議し、決定する。

1)教育研修の企画・実施に関する支援事業

(1)カリキュラム委員会の設置・運営

①目的:教育研修委員会の諮問を受けてカリキュラム委員会を設置し、MR 基礎教育コアカリキュラムの策定及び MR テキスト電子版の仕様を検討する。検討結果は、教育研修委員会に答申する。

②委員:企業の教育研修担当者から選定し、委嘱する。

③期間:2021年4月1日～2022年3月31日

(2) MR 教育研修の指導基準策定ワーキングチームの設置・運営

①目的:MR認定要綱・細則の改定にともない、教育研修と MR の資質向上につながる「教育研修の指導基準案」を策定し、教育研修委員会に答申する。

②委員:教育研修委員会から選定し、委嘱する。

③期間:2021年4月1日～8月31日

(3)教育研修推進者会議の開催

①目的:業界全体の教育研修の充実強化を目指すため、企業の事例発表、ノウハウ交換等の場とする。令和3年度は、制度改定初年度であることから、「新制度における推進者の役割を確認する」をテーマとする。

②受講者:教育研修推進者及び教育研修関係者(約300名)

③開催日:2021年10月19日(火) Web 開催

④内容:

・新制度における2021年度下期の活動確認

- ・各社の目標設定状況(GIO、SBO)
- ・企業報告(案)「制度改定の社内徹底、GIO・SBOの設定、営業部門との連携他」
- ・講演「変革時に求められるリーダーの役割」

⑤受講料:1名につき5,000円

(4)MR学習ポータル個別講習会の実施

- ①目的:MR学習ポータルの操作・運用に関する個別対応
- ②受講者:実務者、推進者
- ③実施日:2021年9月～2022年3月末
- ③開催地:出張またはWeb開催
- ④内容:MR学習ポータルの操作・運用に関する個別講習(運営会社実施)
- ⑤受講料:実費

2)インストラクターへの支援に関する事業

(1)インストラクションスキル研修会(2日間コース)

- ①目的:インストラクションの基本スキルを修得する。
- ②対象:初任者のインストラクター 約70名
- ③開催日:5月、6月、2022年2月
- ④開催地:Webで3回
- ⑤参加料:46,000円

(2)ファシリテーション研修会(1日コース)

- ①目的:ファシリテーションスキルを修得し、グループ学習の促進を図る。
- ②対象:MRの教育研修に携わる者 約40名
- ③開催日:7月、2022年1月
- ④開催地:Webで2回
- ⑤参加料:25,000円

(3)教育デザインセミナー(1日コース)

- ①目的:効果的な教育研修の計画立案と評価方法を学ぶ。
- ②対象:MRの教育研修に携わる者 約40名
- ③開催日:6月、11月
- ④開催地:Webで2回
- ⑤参加料:25,000円

5. 出版事業(定款第4条第3号関係)

1)MR テキスト紙版

(1)MR テキスト紙版の頒布

- ①MRテキスト 2018 医薬品情報
- ②MRテキスト 2018 疾病と治療(基礎)
- ③MRテキスト 2018 疾病と治療(臨床)
- ④MRテキスト 2018 MR総論
- ⑤MRテキスト 2018 医薬品情報第6章 追補

(2)MRテキスト紙版の頒布価格

- ①医薬品情報 2,700 円
- ②疾病と治療(基礎) 2,200 円
- ③疾病と治療(臨床) 3,400 円
- ④MR 総論 3,700 円
- ⑤MRテキスト 2018 医薬品情報第6章 追補 400 円

(3)追補、正誤表の発行

法改正、制度改定、診療ガイドラインの改訂等に伴い、追補を発行する。別途、2021 年度版追補・正誤表をそれぞれ統合した統合版を6月下旬に発行する。

2)MR テキスト電子版

(1)MR テキスト電子版の頒布

- ・毎年4月1日から翌年3月31日までの契約更新制とする。
- ・頒布価格:4種類で1,500円/年・1アカウント
- ・追補、正誤表を反映した最新版は、8月1日にアップデートする。
- ・MR学習ポータルに搭載するMRテキストの頒布価格:1,050円/年・1アカウント

3)MR テキスト出版社のコンペ実施

- ・MR テキスト 2024 の制作にあたって、出版社をプロポーザルコンペにより選定する。

6. 設備投資について

- ・公益事業1及び2のITシステム(MRO)再構築のために、設備投資を行う。
- ・公益事業1及び2、並びに収益事業のITシステム(MR学習ポータル)構築のために、設備投資を行う。

以上